



千代小だより

第11号
令和7年1月8日



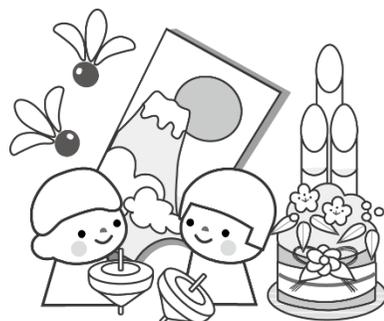
<http://www.kawachinagano.ed.jp/chiyosho/>

あけましておめでとうございます

あけましておめでとうございます。今年のお正月は冷え込む日もありましたが、晴れ間にも恵まれ、穏やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。皆さまにとって幸多い年となりますことをお祈りいたします。本年もよろしくお祈りいたします。

3学期が始まりました。今年度の締めくくりと次年度に向けての準備を進めていかなければと考えています。それと同時に、昨今、世の中では人の命や人権が大切にされていない状況をニュースなどで目にする機会が多くあります。命や人権の大切さもしっかりと伝えていかなければならないと思っています。また、子どもたちもSNSやWEBの情報に触れる機会が多くなり、判断力が未熟な子どもたちがその情報を安易に信じてしまったり、深く考えずに情報を発信してしまったりして取り返しのつかないことになりかねない時代になってきています。子どもの安全を守るためにも学校と家庭が協力していく必要があります。これまで以上に、ご協力をよろしくお願いいたします。

「一年の計は元旦にあり」というように、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てることが大切です。子どもたちが気持ちを新たに、目標を持って今年もいろいろなことにチャレンジして行ってほしいと思います。「冬休みこんなことをしたよ!」「お正月にこんな目標を立てたよ!」というお話をたくさん聞かせてほしいです。



おしらせ



○令和7年度在籍児童数確認

1月中旬に「転居予定調査について」のプリントを配付します。在籍児童数は次年度の学級編成に大きく関わるため、正確な児童数の把握が必要となります。この調査は、全校児童を対象に行います。配付したプリントに、令和7年度の在籍の予定について記入していただき、学級担任に提出してください。また、学年によっては複数回実施することもありますので、よろしくお願いいたします。

○漢字検定・算数検定

1月25日(土)に漢字検定、2月8日(土)に算数検定が行われます。今年度もたくさんの申し込みがありました。集合時刻は9時です。受検する児童には、後日、個別に手紙を配付しますので受検する級、受験会場などを確認してください。

○1月授業参観について

1月29日(水)はフリー参観です。参観していただく時間は2時間目から5時間目となります。時間割などは各担任からお知らせしますので、確認をお願いします。

～～教頭のつぶやき～～

子どもの「こころの根」を育てる

私は教頭になる前に、他市の教育委員会で幼児教育を担当していたことがありました。その時に、小児科医の渡辺久子医師の「こころ育ての子育て」(※)という本と出会いました。この本の内容が、当時わが子の子育てに悩んでいた自分の育児を見直すきっかけとなりました。

“親が子に何かひとつ、これだけは与えよう、とするものがあるとしたら、それは、「吸収力のよい太い根、人生のさまざまな困難に耐える強さを持った心の根」であると思います。”(※より引用)

根っこは基本的に土の中にあって表面上は見えません。太く長く枝分かれして、深く深く根を張った木は、大きく育ち、美しい花を咲かせたり、たくさんの実をつけたりします。

子どもの成長もよく似ていると私は思いました。幼いころに、しっかりと根を張ることができれば、うまくいかないことがあったり、困難なことがあったりして揺さぶられることがあっても、倒れることなく育っていけるのではないのでしょうか。

“よい心の根を育てるために、お母さんである大地には3つの条件が必要です。

1. 無条件に包むこと 〈無条件の愛〉
2. 根の吸収と排泄の営みを受け入れること 〈受容〉
3. 根が一人前に伸びようとすることを認めること 〈承認〉”(※より引用)

自分の子育てを振り返って、いろいろと反省することばかりでした。「○○したらご褒美をあげる」と言ったり、甘えたい表情をしているときに、忙しいからと抱きしめてあげなかったり、「散らかるから」「どうせうまくできないから」と子どもがやりたがったことをさせなかったり…。と悔やんでも悔やみきれません。今、わが子の心の根を何とかして修復しようとして、5年がたとうとしています。まだまだ道のりは長そうです。

男性の中にも女性の中にも母性性と父性性の両方が存在し、両方の原理を使って子育てをしていると言われています。教育の場においても、まずは母性で子どもたちを包み込んで信頼関係を作り、太く広がる根が育つ環境を整え、そのうえで社会のルールや忍耐などを教える父性の部分で指導するということがバランスよく行われることが大切だと私は考えています。



1月行事予定



日	曜	主要行事	保健行事	下校時刻	日	曜	主要行事	保健行事	下校時刻
8	水	【短縮3h】始業式 集団登校開始(14日まで)		全学年 11:30下校	20	月	委員会活動⑧ 3・4年ぐんぐん		1~5年2:50 6年3:55
9	木	給食開始	6年二計測	1~2年3:05 3~6年3:55	21	火	火災避難訓練(2h)		1年 3:05 2~6年3:55
10	金		5年二計測	1~2年3:05 3~6年3:55	22	水	交流給食(4年)		1~3年2:50 4~6年3:40
11	土	千代田中学校制服採寸 (10:00~12:00)			23	木	火災避難訓練(予) わくわく遊び		1~2年3:05 3~6年3:55
12	日				24	金	【通常4h】		全学年 1:30下校
13	月	成人の日			25	土	漢字検定		
14	火		4年二計測	1年 3:05 2~6年3:55	26	日			
15	水	【月水5h】	3年二計測	全学年 2:50	27	月	クラブ⑦(3年見学)		1~2年2:50 3~6年3:55
16	木		2年二計測	1~2年3:05 3~6年3:55	28	火	書写展(30日まで)		1年 3:05 2~6年3:55
17	金		1年二計測	1~2年3:05 3~6年3:55	29	水	【月水5h】フリー参観 マラソン大会(1・3・5年生)		全学年 2:50
18	土				30	木	2年おもちゃ作り(3h)		1~2年3:05 3~6年3:55
19	日				31	金			3年以外2:20 3年 3:20

※27日(月)は3年生がクラブ見学をするため、通常と違い3:55下校となります。

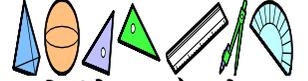
3学期の主な行事

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1月25日(土) 漢字検定 | 1月29日(水) 授業参観 |
| 2月8日(土) 算数検定 | 2月25日(火) 見守り隊「ありがとう」会 |
| 2月28日(金) 千代中吹奏楽部演奏 | |
| 3月18日(火) 卒業式 | |





校長室だより



新年 あけましておめでとうございます

年が明け、新しい年の令和7年（2025年）が始まりました。気持ちも新たに、本校教職員が一丸となって、令和6年度の締めくくりである3学期の教育活動を行ってまいります。保護者のみなさま、どうぞ今までと変わらぬご支援、ご協力をお願いします。

2025年は干支でいうと「乙巳（きのとみ）」の年になります。「乙」には植物が成長し広がっていくような意味があり、柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身も目標に向かって進んでいく力を表しているそうです。また、「巳」はもちろん蛇の意味です。へびは古来より豊穡や金運を司る神様として祀られており、また脱皮をすることで表面の傷を治癒していくことから医療、治療、再生のシンボルともされています。

乙巳（きのとみ）である今年は、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高い年になるそうです。

本校も、学力向上を中心に今まで取り組んできたことが実り、子どもたちが生き生きと毎日を過ごせるような、そんな一年になるようにしていきたいと思っています。

「子どもの話」をよく聞きましょうと言われますが・・・

子どもと大人の間には「ズレ」がよく生じてしまいます。それぞれの年齢、経験、歴史が違うので当然なのですが、大きなズレの一つに、「子どもの話を聞いているか」という件があります。私たちもよく陥ってしまうのですが、大人が聞きたいことだけを聞いてしまっていて、子どもが「自分の話したいこと」を聞いてもらえていないという状況になってしまっているのです。

我々、教師はどうしても「教えたい」という思いが強すぎて、こんなことも伝えたい、あんなことも知っておいてほしいと教えることにどん欲になっていきます。ですから授業でもその傾向が強くなってしまったり、私たちがしゃべりすぎないことを強く意識して授業づくりをしています。子どもの声がたくさん出てくる授業の方が「よい授業」です。こんな授業を作っていくためには、いくつかの仕掛けを施します。授業のはじめのところでいかに興味付けをする、教師からの問題提示（発問といいます）を子どもがじっくり考えられるようなものにする、さらには子ども同士が対話するような学習形態を用いる、などがあげられます。

「子どもの声」を引き出す心の余裕と環境

さて、お家ではどうでしょうか。子どもの声がたくさん出てきているでしょうか。大人が忙しいとついつい「お小言」や「説教」が多くなってしまい、子どもが話し始めるまで「待てない」ことになります。

また家庭の環境でも子どもの声が出てくるかが決まってきます。常にスマートフォンを持っている状況では、子どもが話をするきっかけができていくものではないです。スマホも触らず、テレビもつけずに、何も無い「暇な状態」にすることで、子どもが言いたいことを声に出し始めるようになっていきます。

子どもが言いたいことを声に出す、少し意識して環境整備と「待つ」意識を持ってもらえたら今までと違った親子関係になっていくのではないかと思います。